

# オプジーボとヤーボイを併用されている方へ

## 治療中に気をつける症状

オプジーボとヤーボイの  
投与に注意が必要な方

- 間質性肺疾患と診断されたことがある方
- 自己免疫疾患と診断されたことがある方
- 臓器移植(造血幹細胞移植を含む)を受けたことがある方
- 結核にかかっている方、または過去にかかったことがある方

オプジーボとヤーボイの点滴後に以下のような症状が起こることがあります。  
症状がみられたら、医師、看護師、薬剤師へ相談してください。

いつもより疲れやすい(倦怠感)、  
体重の増減、行動の変化がある  
(性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすいなど)、  
体がだるい、頭痛、食欲不振  
▶ 甲状腺、下垂体、副腎など内分泌機能異常の  
確認が必要です。

めまい、動悸、脈拍の異常、  
意識の低下  
▶ 心臓障害の可能性があります。

息苦しい、足・腕に力が入らない、  
ものが二重に見える、筋肉痛、胸痛  
▶ 重症筋無力症、心筋炎、筋炎、筋肉の融解を  
起こすことがあります。

皮膚や白目が黄色くなる  
▶ 肝障害の可能性があります。

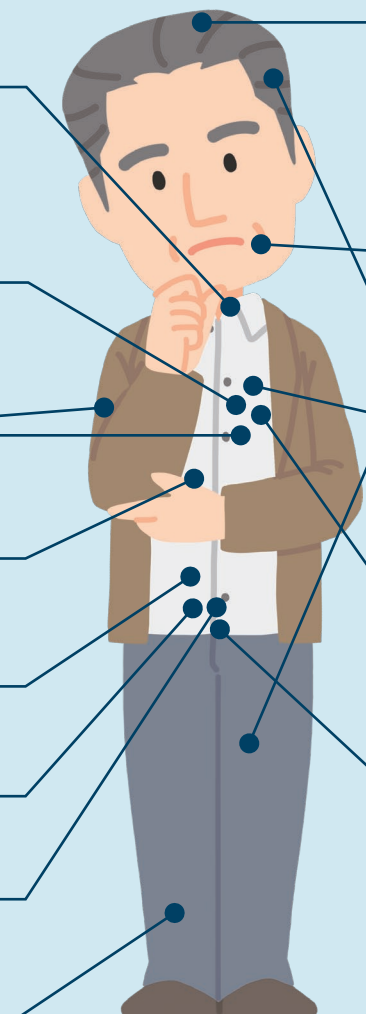
尿量が減る、血尿が出る、  
むくみが強い  
▶ 腎障害の可能性があります。

口渇、多飲、多尿  
▶ 1型糖尿病の可能性があります。

腹痛、背中痛み、吐き気や嘔吐  
▶ 膵炎の可能性があります。

運動のまひ、感覚のまひ、  
手足のしびれ、手足の痛み、めまい  
▶ 神経障害の可能性があります。

咳が続く、痰が出る、寝汗をかく  
▶ 結核に感染している可能性があります。



嘔吐、体の痛み、精神状態の変化  
▶ 脳炎の可能性があります。

皮膚にあざができやすい、  
口や鼻から血が出やすい、  
寒気がする、顔色が悪い  
▶ 血液障害の可能性があります。

白斑、白髪(主にメラノーマの患者さん)  
▶ 肌や髪に脱色がみられることがあります。

下肢の腫れ、むくみ、痛み、胸痛  
▶ 静脈血栓塞栓症の可能性があります。

痰のない乾いた咳が出る、息苦しい、  
歩行時などに息が切れる  
▶ 間質性肺疾患の可能性があります。  
症状がみられたら、風邪と思いきまず、  
ご相談ください。

血便・黒い便が出る、  
腹痛・胸部の圧痛、腹痛を伴う下痢、  
吐き気や嘔吐、排便回数の増加、  
胃の不快感や痛み、吐血  
▶ 大腸炎、小腸炎、消化管穿孔、胃炎の  
可能性があります。

皮膚がかゆい、発疹が出る、  
水ぶくれが出る、ひどい口内炎  
▶ 皮膚障害(重症を含む)の可能性があります。

肺、肝臓、腎臓、皮膚、消化管  
などに対する過剰免疫反応  
により発熱することがあり  
ます。

オプジーボ/ヤーボイ適正使用ガイド(併用療法版) 2022年7月作成  
オプジーボ添付文書 2022年7月改訂(第15版)より改変  
ヤーボイ添付文書 2022年7月改訂(第9版)より改変

※玄関の内扉や冷蔵庫などの目につきやすい場所に貼ってください。

緊急連絡先	電話番号	
	病院名	
	担当医	

## 治療中に気をつける症状

オプジーボとヤーボイの  
投与に注意が必要な方

- 間質性肺疾患と診断されたことがある方
- 自己免疫疾患と診断されたことがある方
- 臓器移植(造血幹細胞移植を含む)を受けたことがある方
- 結核にかかっている方、または過去にかかったことがある方

オプジーボとヤーボイの点滴後に以下のような症状が起こることがあります。  
症状がみられたら、医師、看護師、薬剤師へ相談してください。

### 呼吸器

- 歩行時などに息が切れる
- 息苦しい
- 痰のない乾いた咳(空咳)が出る
- 咳が長引く、痰が出る

### 消化器

- 便に血や粘液が混じる、便が黒い
- 吐き気や嘔吐
- 腹痛を伴う下痢
- 食欲不振
- 腹痛または腹部の圧痛
- 排便回数の増加
- 胃の不快感や痛み
- 吐血

### 循環器

- 動悸
- 脈拍の異常
- 胸痛

### 筋肉・神経系

- 足、腕に力が入らない
- 筋肉痛
- 運動のまひ
- 感覚のまひ
- 手足のしびれ
- 手足の痛み

### 泌尿器

- 尿の量が減る
- 血尿が出る
- 尿の量が増える

### 皮膚

- 皮膚や白目が黄色くなる(黄疸)
- 白斑
- かゆみや発疹
- 水ぶくれが出る

### その他

- いつもより疲れやすい(倦怠感)
- 体の痛み
- 行動の変化がある(性欲が減る、いらいらする、物忘れしやすい等)
- 体重増加あるいは体重減少
- むくみが強い
- のどが渇く
- 皮膚にあざが  
できやすい、  
口や鼻から  
血が出やすい
- 水を多く飲む
- 体がだるい
- 精神状態の変化
- ひどい口内炎
- 下肢の腫れ、むくみ、  
痛み
- ものが二重に見える
- 見えにくい
- めまい
- 意識の低下
- 寒気がする
- 顔色が悪い
- 頭痛
- 寝汗をかく
- 背中痛み

肺、肝臓、腎臓、皮膚、消化管などに対する  
過剰免疫反応により発熱することがあります。

オプジーボ/ヤーボイ適正使用ガイド(併用療法版) 2022年7月作成  
オプジーボ添付文書 2022年7月改訂(第15版)より改変  
ヤーボイ添付文書 2022年7月改訂(第9版)より改変

※玄関の内扉や冷蔵庫などの目につきやすい場所に貼ってください。

緊急連絡先	電話番号	
	病院名	
	担当医	